



未来につなぐまちづくり

【総合的な学習の時間】

- 根室学**
- 1年…根室市の資源を知る (自然・環境・産業)
北方領土学習、地域探求、職業調べ、防災学習
 - 2年…根室市の福祉とまちづくりを考える (根室市の福祉について考える)
手話・障害者福祉、老人福祉、幼児福祉、防災学習
 - 3年…根室市の未来を考える (根室市の課題を考え持続可能な社会の実現)
根室市総合政策室の活用、未来のまちづくりプロジェクト

『ふるさと根室を愛し、夢をもつ人』 = やりがい ← 目指す15歳の姿

- ◆職業講話 (1年) 職場体験学習 (2年生) 専門学校訪問 (3年)
- ◆根室学について文化祭での発信
- ◆クリーン光洋 (町内清掃活動)



『感性を育む』 = 心の教育 豊かな人間性の育成

豊かな心や人間性を育み、社会や人生の在り方を創造的に考えていく。すなわち共生社会をより良く生きる

【教師は?】 課題は管理職は2~3年、一般は4~6年で異動 (基本は根室市以外の根室管内の4町へ)

子どもの行事離れが見られる (コロナにより一層加速した)

◎教師が地域の良さを知らなければ、「ふるさと教育」は深い学びにならない。

『イメージ』 = 発想力

豊かに発想するためには、イメージする力が大切。イメージの基になるのは過去の内的及び外的な経験である。しかしながら、単に経験をすればイメージが豊かになるものではなく、これといった視点を持たないままに漠然と対象と関わったりするだけではイメージも乏しくなる。 = 参加し体験することでイメージが具体化する

地域(行事)を知り、人とつながることで、未来が「わくわく」する授業が作れる。楽しい授業は子どもの可能性を大きく伸ばす。